

白版が必要な場合のデータの作り方について

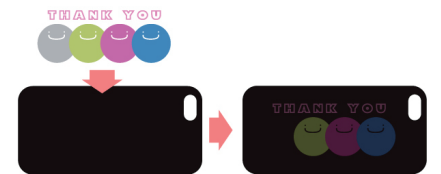
白色以外の色付き素材に印刷する場合、ホワイトインクを使用しないと絵柄が上手く表現されません。
以下をご覧ください、素材色と仕上がりのイメージをご考慮いただいた上、データ作成をお願いいたします。
素材・絵柄についてご心配な点がございましたら、お気軽にカスタマーセンターまでお問い合わせください。

▶色付き素材に白引きを行わずプリントした場合

通常、印刷はフルカラーで行われますが、CMYKだけのプリントでは素材の色の影響を受けてプリントの色味が変わってしまいます。
さらに、素材色が濃い場合には印字はほとんど見えなくなってしまいます。

※透明素材の場合には、窓ガラスに油性マジックで書いたような、透けるイメージになります。
※素材色を活かして、意図的にホワイトインクを使用しない場合は、データ入稿時にその旨をご指示ください。ホワイトインクのデータが無く、かつホワイトインク不使用の指示が無い場合には、お客様に確認が取れるまで案件が保留となる場合もございます。

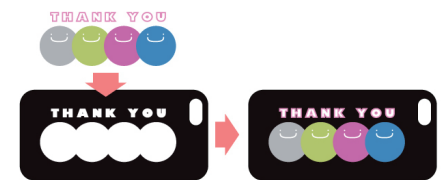
白以外の材質へのプリントは、素材色の影響を受けて画面上と色合いが変わります



▶色付き素材に白引きを行ってからプリントした場合

フルカラーで印刷する前に、ホワイトインクを引きますと画面上と同じ見え方を再現することができます。
※ホワイトインク用のデータが必要です。
※ホワイトインクのみを使用することも可能です。
※素材色が濃い場合、やや素材色の影響を受けた白になります。

白インクを引くことで鮮やかな色合いになります

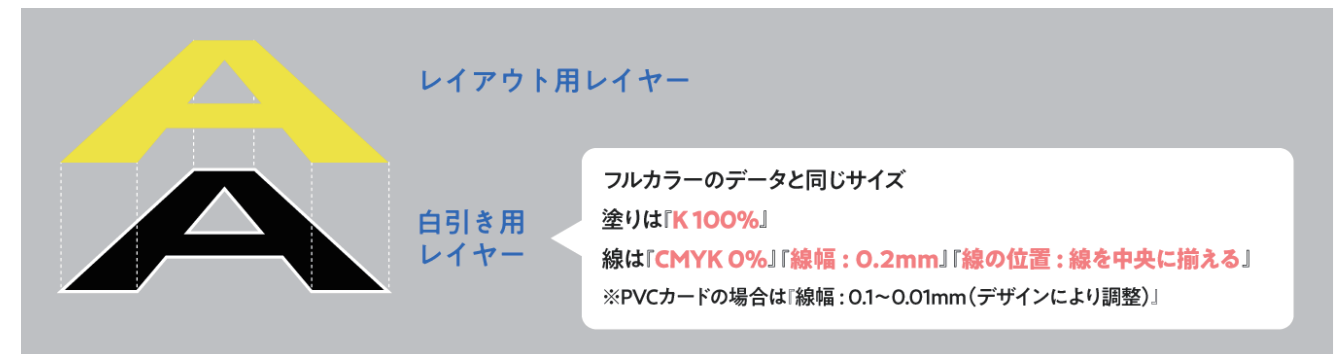


▶ホワイトインク用のデータはレイヤーを分けて作成します

ホワイトインク用のデータは、フルカラーのレイアウトとレイヤーを分け、K 100%で作成をお願いいたします。

▶0.1～0.01mm小さめにデータを作成

白がフチのように若干はみ出る事がございますので、フルカラープリントより0.1～0.01mm 程度小さめにデータをお作りいただくことをおすすめいたします。



- ◎ 制作レイヤーか新しいレイヤー上で作業をお願いします。
- ◎ 文字はアウトライン化して(書式メニュー→アウトラインを作成)ご入稿ください。
- ◎ IllustratorのカラーモードはCMYK、リンクファイルもすべてCMYKかグレースケールでお持ちください。
- ◎ 印刷の関係上、小さい文字や細い線、アミ点(グラデーション)等のデザインはできません。
- ◎ 入稿用データは、別名で保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。(IllustratorCS5での作業であれば、保存バージョンをCS5にしてください)
- ◎ 白インクをご使用になる場合は、白インクレイヤーにデータをK100%で作成ください。フルカラーと同じサイズで白を引くとズレが目立ちやすいため、フルカラーのデータより0.1mm小さく白版を作成してください。ただし印刷の性質上、ズレてしまう場合がございます。また、小さな文字や絵柄はわずかなズレでも非常に目立ってしまいます。